

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらっとホーム三咲		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	定期的にモニタリングなどを実施し、子どもや保護者のニーズや課題を分析した上で計画書や見直しを行っている。	保護者との面談や日々のやりとりを通して情報収集を継続し、計画内容の見直しや支援の充実につなげていく。
2	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている。	日ごろから保護者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に相談できる関係づくりに努めている。相談や申入れがあった際、速やかに状況を確認し、必要に応じて職員間で協議しながら対応している。	相談内容について職員間での情報共有をより一層徹底し、迅速かつ適切な対応が継続的に行えるように体制の充実を図っていく。
3	こどもは安心感をもって通所している。	こどもの様子や気持ちの変化に気づけるよう日々の観察や声掛けを大切にしている。保護者との連携を図り、安心して過ごせる雰囲気づくりに努めている。	こどもの気持ちや状況を把握し、一人ひとりに応じた支援や安心して過ごせる環境や関わり方について職員間で共有し、支援の質の向上に努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていない。	利用人数に比べて活動スペースや設備の都合により、保護者やきょうだいを含めた行事の実施が難しいため。	保護者同士の交流や保護者会開催に対するニーズを把握し、必要に応じて検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会があまりない。	放課後児童クラブや児童館との直接的な交流はないが、地域の公園などで他のこどもたちとの関わる機会を設けている。	近隣の児童クラブや児童館等の情報収集を行い、行事やイベント等への参加など、段階的に交流の機会を設けていく。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない	日々の支援業務を優先しており、家族向けの研修会や情報提供の機会を十分に設けることが出来ない。	外部研修の情報提供や資料配布等、実施可能な方法から取り組み、家族支援の機会を設けていく。